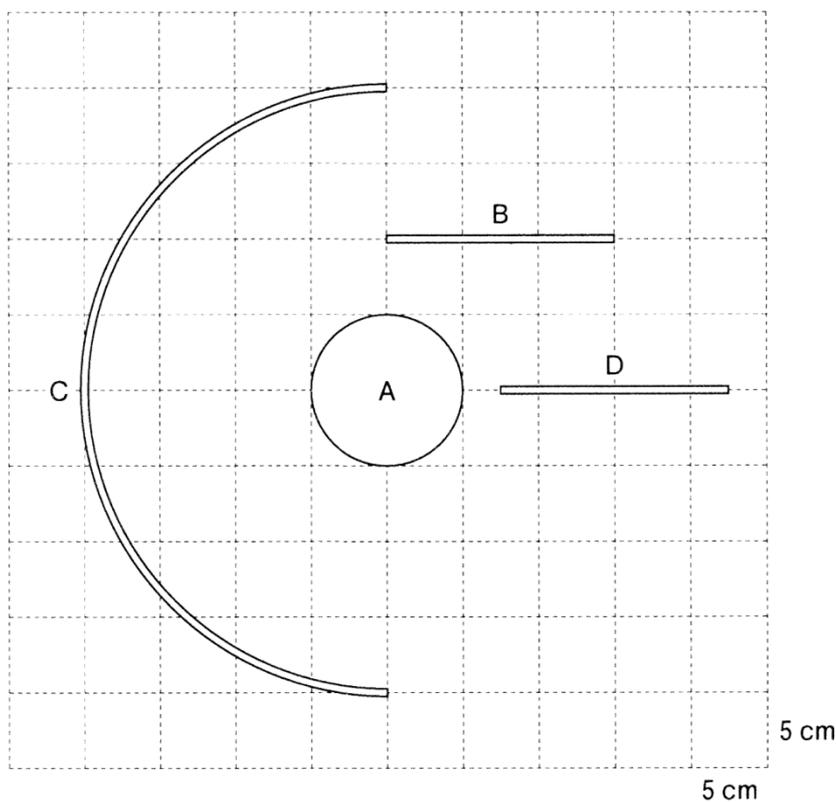


3 全国試験（2018）

問 題

図が示す位置に4つの立体が置かれている。Aは白い石こうでできた円柱、B、C、Dは透明なアクリル樹脂でできた板で、Bは赤、Cは青、Dは黄に染められている。各立体の高さは、Aが20cm、Bが15cm、Cが10cm、Dが5cmである。

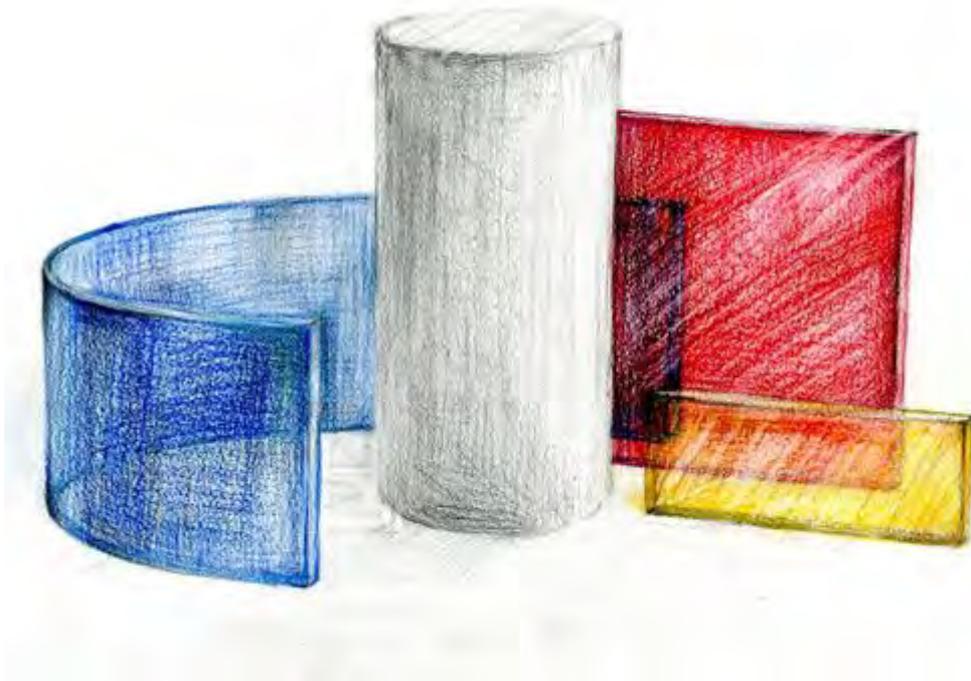
これらの立体が白いテーブル上に置かれた状態を想像し、描画条件をよく読み、解答用紙（画用紙）に描きなさい。



図

<描画条件>

- 1) 画用紙の裏面に受験番号・氏名を記入し、表面・横位置で描きなさい。
- 2) 鉛筆や色鉛筆を使用し、フリーハンドで描きなさい。
- 3) 光の方向は自由に設定してよい。
- 4) 与えられた条件以外は自由に設定してよい。



<描画のポイント>

4つの立体の大きさ、位置関係を正確に把握し、どの角度から表現すると全体を説明できるかを考えます。次に透明なアクリル板が重なった時に生ずる色や材質感に注意しながら描画します。

<講評>

全体の位置関係が分かりやすく表現できています。アクリル版の透明な材質感が表現されていますが、採光の方向がやや不明瞭です。光を反射している面やエッジのハイライトを強調すると作品にメリハリができます。